

(仮称)田名のあすを拓く会 第1回企画会議 議事概要

日 時：平成18年2月13日(月) 午後7時~午後9時15分

会 場：田名公民館 小会議室

1 「企画会議」について

- ・「企画会議」の位置付けを明文化して定める必要があるのでは。
- ・「全体会」は、意見交換・情報収集の場としての機能であり、「企画会議」は、全体会の運営方法、議題に対する審議などを行う場としていきたい。
- ・新たに参加された方々にとって、組織の仕組みがわかりづらい面がある。

今までのプロセスがわかるものを次回以降明示する。

2 今後の活動について

(1)「犯罪連絡システム」について

- ・学校から自治会に犯罪発生情報が流されているが、自治会内に留まってしまう。田名の全域的なシステムとして幅広い団体が参加すれば、田名全体の防犯の気運が高まるのではないかと。
- ・犯罪発生情報は、教育委員会指導課から公民館にも来ている。公民館、こどもセンターや児童館などの市の施設、自治会掲示板などにも情報を掲出したらよいのではないかと。
- ・情報の取捨選択をする必要があり、まずはその基準を設ける必要がある。
- ・交通・地域安全課では、今年度中に「さがみはら安全・安心情報システム」を構築予定。この中に、地域で独自に運用できるシステムを作る予定である。

(2)「防犯パトロール」について

- ・自治会で「防犯パトロール」を行っているようだが、住民の認知度が低い。アンケートを実施して、活動できる人を募ってはどうか。自発的なボランティアが増えると良い。
- ・地域全体の取組みだが、パトロール自体は、単位自治会ごとに行ったほうが良い。

「活動参加アンケート」の雛型については、事務局で作成し企画会議に提案する。

(3)「あいさつ運動」について

- ・「あいさつ運動」の周知には時間がかかるが、根気強く進めていけば、地域の安心・安全につながる。地域の大人から子供たちに声をかけ、馴染んでいく必要がある。
- ・何かのきっかけで顔見知りとなれば、声も掛けやすく、地域も明るくなる。

「あいさつ運動」については、成功する方策を、企画会議参加者が次回までに検討してくる。

(4) その他

- ・「防犯マップの作成」について、前回、各学校で防犯マップを作成しているとの発言があった。これを踏まえて、独自に防犯マップが作れないか。
- ・田名の住居表示未実施の地域では住居番号板の設置がされておらず、犯罪等が発生した時の通報の際に場所が特定しにくい。住居表示がされている地域と同様、番地を表示した看板を設置し、場所を特定できる方策が必要ではないか。
- ・伊勢原市のある地域では、防犯灯の代わりに自宅の門灯を夜11時まで点けており、街が明るくなって犯罪が減ったとのことであった。各家庭に負担は増えるが、街全体としての防犯メリットは高くなるはずだ。

伊勢原市の一軒一灯運動については、事務局で資料を収集する。